

◎ 北小・里小校区公民館文化祭

10月31日～11月1日(土・日) 北部公民館  
 ステップ新体操メンバーのオープニングに続いて、手作り紙飛行機 100 機が飛び、かきたホールに歓声が上がる。続いてハロウィンダンス(仮装した町内会役員のおジサンたちは、リズムに乗れず棒立ち状態でした)。  
 展示室では校区の方々の珠玉の作品、幼稚園・小学生・東山中学生・老人クラブの作品が見られました。ホール前広場ではお団子・花の苗の販売、菊花展、DENSO チャリティーバザー、ふかし芋の振舞い、根羽村のネバーランドから乳製品やおこわの即売、初出店のサンドイッチもあり、あちこちに行列ができて会場はとても華やかなものとなりました。  
 各会場では今年も、東山中学校の生徒さんたちのボランティアに支えられて、運営されました。



秋三題

◎ 七五三詣り 11月7・8日、白山神社

七歳までは神のうち。七歳まで無事に育ったことを感謝する儀式が七五三の祝い。拝殿前には立派な菊が飾られ、境内には神楽の音が流れる。パパとママ・爺と婆揃い組みの一家も見られ、境内は華やいだ空気に包まれる。千歳まで長生きを願う、千歳あめを手にした子ども達。子の成長を祈る風習、続けたいものです。



◎ 健康講演『いきいきと、豊かに生きる』 11月14日(土) 午前10時 八千代病院 松本理事長

『生まれ・生きる・死ぬ』三つの過程で、今を『いきいきと豊かに生きる』ことの大切さを、宇野千代の生き様を通して語られた。今回は大きな脱線もなく、松本理事長の名調子いっぱい講演でした。  
 『私、何だか死なないうような気がするんです』で、はじまり、『生きている限り、体を動かさなければならぬ。心を動かさなければならぬ』、そして『人生はいつだって、今が最高の時なのです。』と、宇野の言葉は続く。74歳の時、胃の5分の3を切除したが、以来、健康法を実践して98歳まで生きた宇野は、それまで奔放に生きた、その生き方が『豊かに生きるあかし』として、私たちは大いに学ぶものがあります。  
 感動は心に結びつき、人生を楽しくさせる。スマイル、スマイルと心の中で呟きながらニコニコして歩いていると、何だか気持ちが軽くなる。健康法とか何とかいうよりも大切なのは、気持ちの持ち方です。くよくよしない。どんなに体によくても、おいしくなければいけない。朝ごはんがおいしければ、一日が幸福です。  
 宇野千代を語る松本理事長を拝見していると、まるで宇野が乗り移ったような錯覚にとらわれてしまった。  
 PS・元フォーククルセーダースメンバーだった、今は精神科医として有名な北山修と理事長が友達ですと発言されたときは、不思議な感覚でした。宇野千代と松本理事長、北山修。不思議なつながりですね。

◎ 12月の予定

- 12月 6日〔日〕町内会役員反省慰労会〔公会堂〕
- 12月 12日〔土〕三代カローリング〔北部公民館〕
- 12月 25日〔金〕事務所仕事納め
- 28年
- 1月 4日〔月〕事務所仕事初め

◎ 文化活動発表会、学芸会

東山中学・11月6・7日、北部小学校 11月7日  
 北小では各学年別に、テーマを決めての発表でした。戦争の悲劇、都築弥厚、リズムを楽しむ、東山動物園の象列車、植物のいのち、お爺さんと孫、自然と生き物。重いテーマを楽しく演じていました。  
 中学生ともなれば英語。四人による英語スピーチコンテスト出場者の報告。流暢な英語を聞きながら、訳文が投影された壁を見ているのは、私だけ？  
 安城市と姉妹都市のオーストラリア・ボブソンスベイ市への交換留学生の報告は、日本語。(よーかった)  
 土曜日はクラス対抗の合唱コンクール発表。3年生にとっては最後のクラス活動、熱い合唱発表でした。



◎ 子ども会の資源回収 12月の予定

- 星の子 12月12日(土)
- わかば 12月15日(土)
- 松 12月19日(土)

